

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



WEEKLY

なごや ちくさ

題字 黒野清宇

名古屋千種ロータリークラブ
 承認 1982年 8月24日
 例会日 火曜日 12:30
 例会場 愛知厚生年金会館
 事務局 TEL763-5110 FAX763-5121
 会長 大口弘和
 幹事 谷口優
 会報・雑誌委員長 山本英次

No. 10

慈愛の種を播きましょう Sow the Seeds of Love

2002~2003年度 RI会長 ビチャイ・ラタクル

きょうの例会
 第964回 平成14年 9月 17日(火)

夫人同伴夜間例会
 於 松楓閣 18時~

先週の記録
 第963回 平成14年 9月 10日(火) 晴

◆“それでこそロータリー”

◆出席報告

会員	70(64)名	出席	48名
出席率	75%		
前々回	8月27日(修正出席率)		100%

谷口幹事報告

1. 次回例会は夜間例会で午後6時より松楓閣にて開催致しますので、昼間の例会はございません。

大口会長挨拶

日本のロータリー

20周年記念例会もいよいよ来月に迫って来ました。先週は実行委員の方に能楽堂と観光ホテルの下見と打ち合わせに行きお疲れ様でした。

以前、世界のロータリーについてお話させて頂きましたが、今日は日本のロータリーについて少しお話させて頂きます。

わが国、最初のロータリークラブは1920(大正9)年10月20日に設立された東京ロータリークラブで、翌1921年4月1日に世界で855番目のクラブとして、国際ロータリーに加盟が承認されました。

日本でのロータリークラブ設立については、ポール・ハリスの片腕としてロータリーの組織をつくり、海外拡大に情熱的に取り組んだ初代事務総長チェスリー・ペリーと、創立の準備に奔走した米山梅吉、福島喜三次などの先達の功を忘れることが出来ません。

その後、日本のロータリーは、第二次世界大戦の波に洗われて、1940年に国際ロータリーから脱退します。戦後1949年3月になって、再び復帰加盟しますが、この時の復帰に尽力してくれたのが国際ロー

タリーの第3代事務総長であるジョージ・ミーンズでした。

その後の日本におけるロータリーの拡大発展は目覚ましいものがあります。ロータリー財団への貢献も抜群で、今や国際ロータリーにおける日本の地位は不動のものになりました。

現在、日本全体のクラブ数は2315、会員数111,639人(2002年6月末)となっております。

ところで、クラブの運営や例会を日本語で行っている海外のロータリークラブがあるのをご存知でしょうか。タイ・バンコクの3350地区で2001年3月5日に承認された、バンコクスリオンRCがそうです。創立目的の1つに「日本とタイに存在するロータリークラブのマッチメーカーという役割を通じて、ロータリー活動の地域社会への浸透と国際化に協力する」とあります。メンバーは、日本国籍27人、タイ国籍2人の29人ということです。新たな国際奉仕の芽がすくすくと伸びていくのを願ってやみません。

◆卓話

“制作の苦勞”

会員 佐野 寛君



「銅と出会う」

私の仕事との出会いは戦後焼け跡の学校工場から出てきた銅や真鍮の素材で工場実習が始まり、金属をハンマーで叩く事により壺や皿が出来ることに感動を覚えたことでした。

当時、ガタルカナルの生き残りのお兄さんと言った感じの先生が毎日真鍮の壺を叩いていたことに興味を持った私は実習工場に遊びに行き習い始めました。

その先生は岩城先生とおっしゃり、今は他界されましたが、我が人生の方向が此の先生により方向付けされたようです。

此の仕事が続けるにはどうするかと考え、当時手仕事で金属加工をしていた安藤七宝店に無理にお願いして勤める事が出来ました。

安藤七宝店に就職が出来、金属の仕事は出来ましたが此れでは普通の職人なので、絵の描ける職人になる為、デッサン教室に通ってデザインの出来る職人を目指しました。庭の草花のスケッチ、特にバラが好みで花の咲く季節は楽しみでした。

当時七宝は15%の物品税が掛かり、銅の部分が沢山出ているのは免税で私どもはこの様な技法の作品を担当しておりました。

この地方では銅の加工をして作品を制作している所は七宝の業界以外は余りなかったと思って居ります。

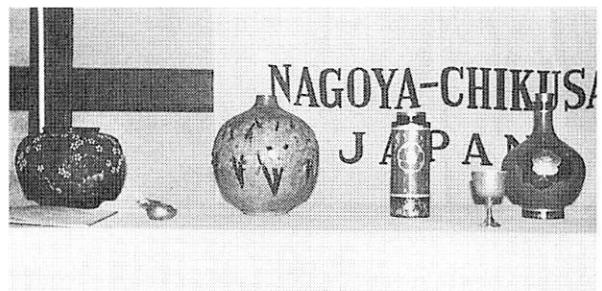
会社に入って3年目に技術導入と言うことで東京に出ました。目的は銅の表面に丈夫で美しい表面処理が出来ないかと言うことでした。

昭和28年頃の東京の作家は銀の作品を制作しており銅は少数派でした、銅の表面処理は分業で作家個人では出来る人が少なく専門家をお願いして居りました。

当時、金属の着色について村上透先生の本が戦前から出ており、私も先生の本を参考にテストしてみますが中々旨いきませんでした。先生にお会いす

るチャンスがありましたが、直接テストはして頂けず、お弟子さんに研究をして頂きますが、簡単には良い結果は出ませんでした。本を丹念に研究し結果が出るまでに10年程掛かりました。

銅に緑青色を着色することがテーマで、銅屋根の様に10年程外気に晒すと青銅色に成ります。普通の営業では一週間とかせめて一月以内に作品に成らないと完成した技術とは言えないと思います。最初は部屋の中で作業しておりましたが旨く出来ませんでした。薬品を塗布すると簡単に青く成るが乾くと色が無くなってしまおうのですが、ある時、太陽の日が入る部屋で塗布すると銅の表面に固定出来る様に成りました。永い年月が過ぎて居りました。



ニコボックス

笹野 義春

早退させて頂きます。

在田 忠之・二村 聡

萩原 喜代子・林 哲央

池田 隆・池森 由幸

石黒 正則・伊藤 健文

伊豫田 博明・櫻尾 富二

加藤 重雄・加藤 大豊

河村 政孝・菊池 昭元

小林 明・小山 雅弘

小坂 井盛雄・黒須 アイ子

牧野 登志子・柵木 充明

松居 敬二・松永 正史

宮尾 紘司・三好 親

水野 賀續・水谷 祥督

森 幸一・成田 良治

大口 弘和・佐久 間良治

佐野 寛・澤田 淳

鈴木 理之・竹内 眞三

谷口 優・舎人 経昭

魚津 常義・和田 正敏

山田 壽勝・吉田 節美

吉田 玄

米・同時多発テロから明日で一

年です。

合計

48,000円

ロータリーの友 9月号より

◇クラブ例会

毎週開催されるロータリークラブの例会は、なんといっても、ロータリーを理解するためには欠かせないと思います。会長・幹事や各委員長の話の中には、ロータリーの経験の少ない新会員にとって難しいものもあると思いますが、近くの席の先輩会員に説明をお願いしてみてもいかがでしょうか。

ロータリーの知識が広がるばかりではなく、それがきっかけで親しい先輩が一人増えることと思います。

◇地区大会

年1回開催される地区大会は、地区内のクラブの活動を知り、会員と知り合う絶好の機会です。また、ガバナーや国際ロータリー(RI)会長代理の話、シンポジウムなどでは、国内のクラブの状況や、全世界のロータリーの動きなども知ることができます。

◇ガバナー月信

ガバナーから地区内のクラブの会長・幹事に毎月発送される親書的な公式文書。出席報告を含む、特に会

ロータリーを知ろう

員の関心の高い重要事項が記載されています。

全会員の人数分印刷して配布する地区もあります。また、インターネットのホームページに入れ、そこで読むことのできる地区も多くなりました。

◇THE ROTARIAN・ロータリーの友

会員は、ロータリーの機関雑誌である『THE ROTARIAN』または、RI理事会から承認ならびに指定されている地域的なロータリー雑誌(日本の場合は『ロータリーの友』)を購読する義務があります。

『ロータリーの友』には、国際ロータリーから指定された記事(RI指定記事と記載)や国内の地区やロータリークラブの活動状況を紹介した記事、さらには、会員の意見を掲載したページなどがあります。本年8月号からは、「新会員ノート」(本欄)を設けたり、RC、PGなどのロータリーの略語を減らしたり、また「Annotation」(注釈)を欄の最後に入れるなどして、新会員の方にも親しみやすい編集を心がけています。ご活用ください。